



Interim Business Report

第65期 中間報告書

2011年4月1日から2011年9月30日まで

 **丸文株式会社**

証券コード：7537

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素から格別のご支援とご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第65期中間期（2011年4月1日から2011年9月30日まで）の報告書をお届けしますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

当中間期におけるわが国の経済は、東日本大震災に起因するサプライチェーン寸断や原発災害の影響から着実な回復が見られるものの、欧州の財政不安による世界経済の減速懸念や急激な円高の進行など、先行きが不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレットPCの需要が世界的に拡大し、また震災による部品不足の影響を受けた自動車やデジタルカメラ、OA機器の生産も回復が進みました。その一方で、TVの需要が減退し、半導体製造装置の受注も設備投資抑制が広がり減速に転じました。半導体・電子部品市場におきましても、DRAMや液晶パネルの価格下落が一段と進みました。



代表取締役社長
稲村 明彦

こうした状況のもと、当中間期における当社グループの売上高は、前年同期比5.5%減の103,703百万円となりました。営業利益は前年同期比39.1%減の593百万円、経常利益は前年同期比34.4%減の347百万円となりました。四半期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益に計上した結果、前年同期比168.8%増の131百万円となりました。

株主の皆様には、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当期の配当金について

株主の皆様への利益配分につきましては、継続的な利益還元を基本とした上で、業績に応じより積極的に利益還元を行うよう業績連動型の配当方式を採用し、配当性向を重視して決定しております。配当額は、連結ベースでの配当性向25%以上もしくは単体での配当性向

30%以上のいずれか多い方を目安として決定していく方針であります。

このような方針のもと、第65期中間配当金につきましては1株あたり5円とさせていただき、期末配当金につきましては1株あたり7円を予定しています。

当期の連結業績予想

当期の経済見通しにつきましては、為替の変動やタイの洪水の影響など、厳しい事業環境が予想されます。

このような環境のもと、当期の業績につきましては、デバイス事業ではサムスン電子の事業譲受の効果や商権拡大、通信インフラやスマートフォン向けのビジネスの増加、システム事業では当中間期に受注が好調でした

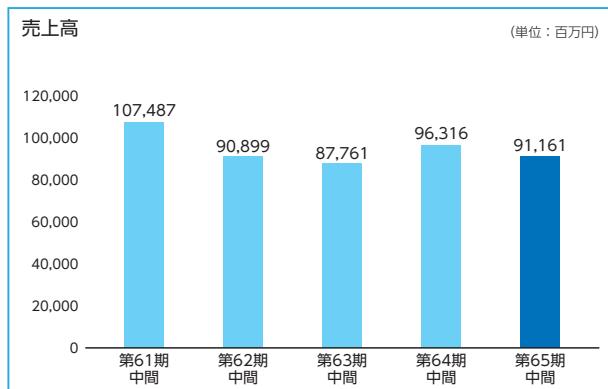
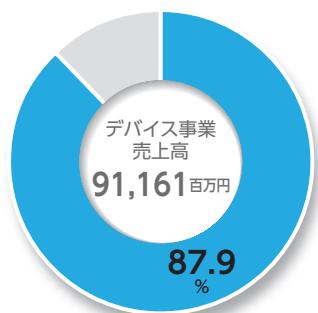
試験計測機器の増加を見込んでいます。その結果、売上高は243,500百万円(前期比15.7%増)を予想しております。利益面につきましては、営業利益3,250百万円(前期比18.0%増)、経常利益2,800百万円(前期比26.3%増)、当期純利益1,200百万円(前期比107.8%増)を予想しております。

	前期実績	通期予想	前期比
売上高	210,455百万円	243,500百万円	15.7%増 
営業利益	2,754百万円	3,250百万円	18.0%増 
経常利益	2,217百万円	2,800百万円	26.3%増 
当期純利益	577百万円	1,200百万円	107.8%増 

セグメント別事業の概況

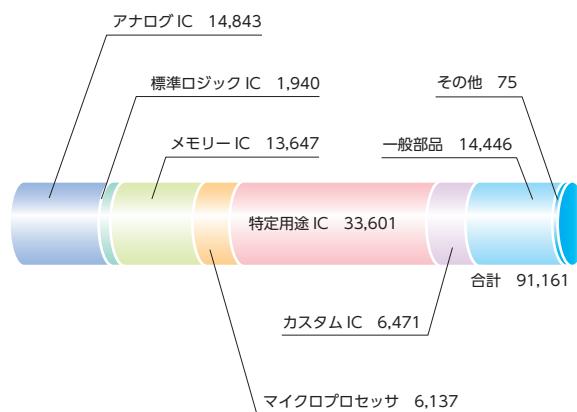
◎ デバイス事業

デバイス事業は、PC向けや通信インフラ向け半導体が増加したものの、TV向け液晶パネルや携帯電話モジュール向け半導体の売上が減少し、また震災の影響で車載向け半導体も需要が減少しました。その結果、売上高は前年同期比5.4%減の91,161百万円、セグメント利益は前年同期比44.7%減の510百万円となりました。



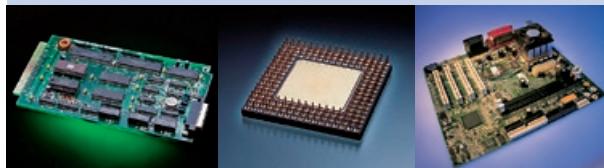
品目別売上高構成

(単位：百万円)



主な取扱商品

アナログIC、標準ロジックIC、メモリーIC、
マイクロプロセッサ、特定用途IC、カスタムIC、
一般部品（電子・電気部品、ボードコンピュータほか）



トピックス【デバイス事業】

1

米国ASICベンダー「Open-Silicon」社と販売代理店契約締結

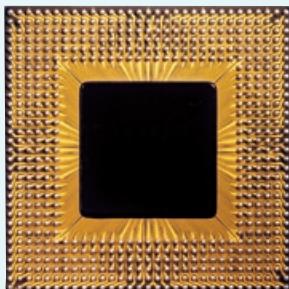
当社は9月、大規模ASICのファブレスメーカーである「Open-Silicon, Inc. (以下オープンシリコン社)」と販売代理店契約を締結しました。

ASICは高集積化が進んでいるため、40ナノや28ナノプロセスなどの微細化ニーズが高まっています。オープンシリコン社は特定のファブや既存IPに縛られることがないファブレスメーカーですので、お客様の要望や環境に最適な提案ができるのが特徴です。

当社では、オープンシリコン社の柔軟性のある高機能、高性能カスタムICを通じて、お客様の様々なカスタムICニーズに応えていきます。

ナノ：10億分の1メートルの単位。

ファブ (Fab)：製造、組み立てのこと。ファブレスメーカーとは製造はせず、設計のみを行うメーカーのこと。



Open-Silicon社のテクノロジーを使ったASIC製品

2

「NexPower Technology」社製太陽電池の試験設備を設置

越谷市にある当社独身寮の屋上に7月、「Nexpower Technology Corp. (以下ネクスパワー社)」製薄膜型シリコン太陽電池を設置し、発電状況等の試験を開始しました。

ネクスパワー社は台湾UMCグループより設立された薄膜型太陽電池の製造メーカーで、当社は2010年度より同社製薄膜型シリコン太陽電池の取り扱いを開始しています。

今後は、環境・エネルギー関連のお客様に対するソリューション提案を、設置した太陽電池の試験データを活用して加速させていきます。



3

「Freescale Semiconductor」社よりベスト代理店賞を受賞

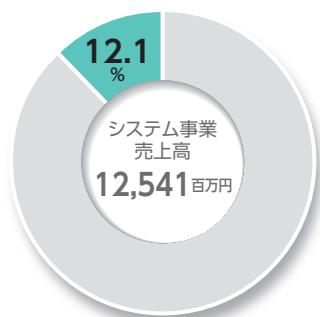
「Freescale Semiconductor Inc. (以下FS社)」が開催する総合技術フォーラム「Freescale Technology Forum Japan 2011」が、9月に東京で開催されました。当社はダイヤモンド・スポンサーとしてブースを6つ出展し、当社オリジナルボードM2IDやamethyst、最新ARMマイコンKinetisによる展示やデモを行い、FS社よりベスト代理店賞を受賞しました。



セグメント別事業の概況

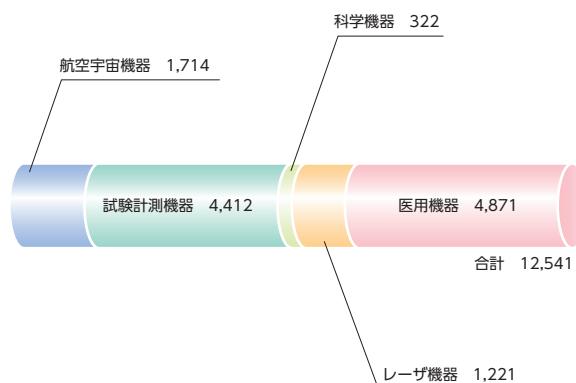
◎ システム事業

システム事業は、試験計測機器が前年同期並みに推移したものの、航空宇宙機器の人工衛星用部品が減少、科学機器やレーザ機器、医用機器も低調でした。その結果、売上高は前年同期比6.9%減の12,541百万円、セグメント利益は前年同期比0.3%減の88百万円となりました。



品目別売上高構成

(単位：百万円)



主な取扱商品

航空宇宙機器、試験計測機器、科学機器、
レーザ機器、医用機器



トピックス【システム事業】



株式会社安永製 IC外観検査装置の取扱いを開始

当社は6月、半導体製造後工程用の各種IC外観検査装置を取り扱う「株式会社安永(以下、安永)」と販売代理店契約を締結しました。

安永製の検査装置では、車載向けのICなど精密な微細欠陥検査を行うことが可能です。

当社では既に半導体製造ライン向けに各種検査装置を取り扱っていますが、安永のIC外観検査装置を新たにラインナップに加えることにより、従来取扱いの各種検査装置やハンドラーと合わせてお客様にシステム提案し、後工程ラインにおける各種IC検査をトータルにサポートしていきます。



安永製 IC外観ユニット VM22



展示会に出展 ～最先端を提供～

当社システム事業では最先端エレクトロニクス製品を取り扱っています。

各種展示会を積極的に活用することで、皆様に広く製品の紹介を行っています。この当中間期は以下の展示会に出展し、当社製品の紹介やニーズ発掘に努めています。

4月:『光通信技術展(ファイバーオプティクスEXPO)』

『Photonix2011』

5月:『人とするまのテクノロジー2011』

6月:『JPCA Show2011』

『MEDTEC Japan』

7月:『ワイヤレス・テクノロジー・パーク2011』

『テクノフロンティア2011内
設計支援システム展』

9月:『InterOpto2011』



展示会出展の様子

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期末 2011.9.30	前期末 2011.3.31
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,943	16,330
受取手形及び売掛金	57,553	46,599
商品及び製品	36,726	29,024
仕掛品	23	9
繰延税金資産	1,119	1,228
その他	3,183	2,116
貸倒引当金	△39	△29
流動資産合計	108,510	95,280
固定資産		
有形固定資産	4,502	4,609
無形固定資産	324	405
投資その他の資産	6,314	6,259
固定資産合計	11,142	11,274
資産合計	119,652	106,554

(単位:百万円)

科目	当中間期末 2011.9.30	前期末 2011.3.31
負債の部		
流動負債	78,771	65,660
固定負債	5,154	5,280
負債合計	83,925	70,940
純資産の部		
株主資本	33,762	33,787
その他の包括利益累計額	△991	△1,109
少数株主持分	2,954	2,936
純資産合計	35,726	35,613
負債純資産合計	119,652	106,554

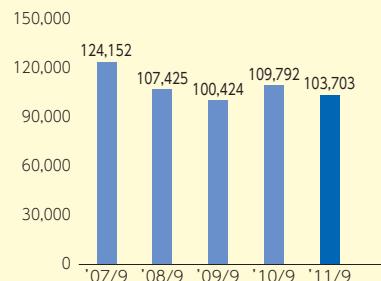
■ 連結貸借対照表のポイント ■

現金及び預金が6,386百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が10,953百万円、商品及び製品が7,701百万円それぞれ増加したことにより、流動資産は前期末に比べ13,229百万円増加しました。

■ 連結財務ハイライト

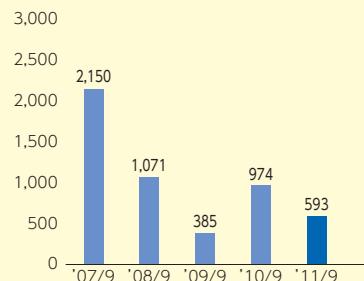
売上

(単位:百万円)



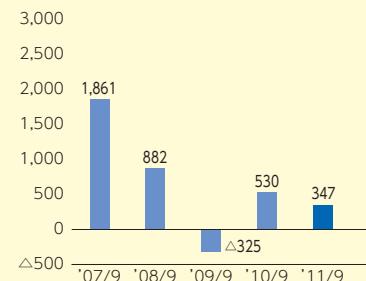
営業利益

(単位:百万円)



経常利益(△損失)

(単位:百万円)



■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 2011.4.1~ 2011.9.30	前中間期 2010.4.1~ 2010.9.30
売上高	103,703	109,792
売上原価	95,620	101,722
売上総利益	8,082	8,070
販売費及び一般管理費	7,488	7,095
営業利益	593	974
営業外収益	245	284
営業外費用	491	729
経常利益	347	530
特別利益	79	—
特別損失	36	179
税金等調整前四半期純利益	390	351
法人税等	128	129
少数株主損益調整前四半期純利益	262	221
少数株主利益	130	172
四半期純利益	131	49

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

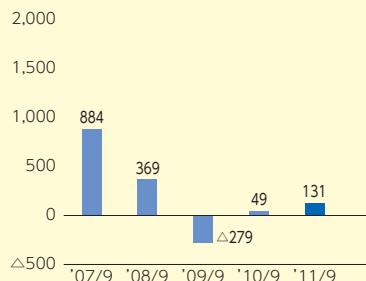
科目	当中間期 2011.4.1~ 2011.9.30	前中間期 2010.4.1~ 2010.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,103	△5,503
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,084	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,739	△3,268
現金及び現金同等物に係る換算差額	△186	△504
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△6,634	△9,304
現金及び現金同等物の期首残高	16,078	24,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,443	15,303

■ 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント ■

定期預金の預入による支出が340百万円、事業譲受による支出が5,777百万円等あったことにより、投資活動による資金の減少は6,084百万円となりました。

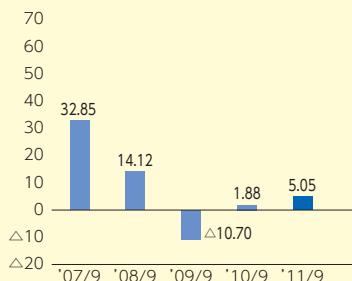
中間純利益(△損失)

(単位:百万円)



1株当たり中間純利益(△損失)

(単位:円)



純資産/総資産

■ 純資産 ■ 総資産 (単位:百万円)



インフォメーション (2011年9月30日現在)

■ 株式の状況

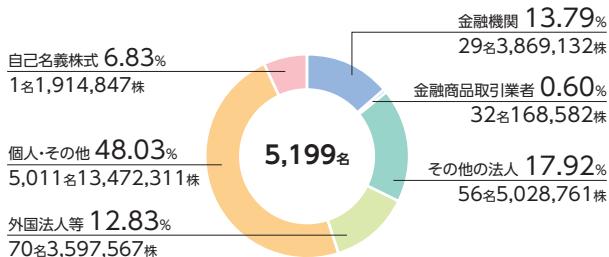
● 株式・株主の総数

発行可能株式総数	100,000千株
発行済株式の総数	28,051千株
1単元の株式数	100株
株主数	5,199名

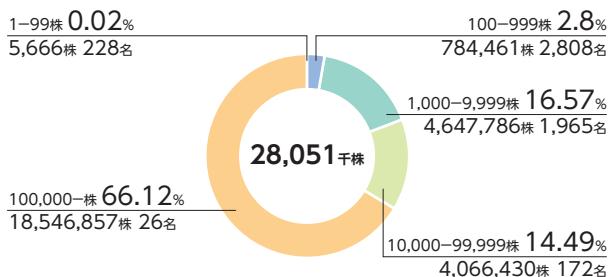
● 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
堀越 毅一	2,714,800	9.67
アローエレクトロニクスインク	2,350,100	8.37
一般財団法人丸文財団	2,304,000	8.21
丸文(株)	1,914,847	6.82
堀越 裕史	1,556,800	5.54
(株)千葉パブリックゴルフコース	1,199,026	4.27
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	669,300	2.38
丸文社員持株会	659,387	2.35
堀越 浩司	604,900	2.15
堀越 百子	602,400	2.14

● 所有者別の分布状況



● 所有株数別の分布状況



● 株価の推移



会社概要 (2011年9月30日現在)

■ 会社の概況

会社名 丸文株式会社
(英文名称 MARUBUN CORPORATION)
所在地 〒103-8577
東京都中央区日本橋大伝馬町8-1
代表者 代表取締役社長 稲村 明彦
創業 1844年(弘化元年)
設立 1947年(昭和22年)7月1日
資本金 6,214,500,000円
従業員数 771名(2011年4月1日現在)

■ 役員

代表取締役社長	稲村 明彦	取締役相談役	堀越 毅一
代表取締役専務	岩元 一明	非常勤取締役	相原 修二
代表取締役専務	水野 象司	非常勤取締役	高島 哲
取締役	小野澤 隆	非常勤取締役	藤野 聡
取締役	加藤 正日出		
取締役	越野 智明	常勤監査役	岩谷 雅夫
取締役	清水 裕司	常勤監査役	丸川 章
取締役	細川 尚男	監査役	島津 久友
取締役	堀越 裕史	監査役	濱口 道雄
取締役	望月 稔之	監査役	渡邊 泰彦



●本社



●東日本物流センター

■ 国内拠点

本社
中部支社
関西支社
大宮支店
立川支店
北陸営業所*2011年10月1日開設
松本サテライトオフィス
浜松サテライトオフィス
広島サテライトオフィス
九州サテライトオフィス
宇都宮カーエレクトロニクスオフィス
姫路カーエレクトロニクスオフィス
新砂事業所
南砂テクニカルセンター
東日本物流センター
南砂物流センター

■ 主なグループ会社

《国内》

丸文通商株式会社
丸文情報通信株式会社
丸文セミコン株式会社
丸文ウエスト株式会社
株式会社フォーサイトテクノ

《海外》

Marubun Taiwan, Inc.
Marubun Semicon (Shanghai) Co.,Ltd.
Marubun Semicon (H.K.) Ltd.
Marubun/Arrow Asia,Ltd.
Marubun/Arrow (S) Pte Ltd.
Marubun/Arrow (HK) Ltd.
Marubun Arrow (Thailand) Co.,Ltd.
Marubun/Arrow (Phils) Inc.
Marubun/Arrow (Shanghai) Co.,Ltd.
Marubun Arrow (M) SDN BHD.
Marubun/Arrow USA, LLC

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会、期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.marubun.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、日 本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

【お知らせ】

1. ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。

2. 配当金計算書について

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

●当社IRサイト

<http://www.marubun.co.jp/ir/>

最新の当社IR情報や詳細な財務情報等をご覧ください。

●単元未満株式保有の株主様へ

株券の電子化に合わせて、単元未満株式（100株未満の株式）の買取りにかかる手数料を無料としています。是非ご利用ください。

お問合せ先	口座を開設されている証券会社等 ※特別口座の場合は、三菱UFJ信託銀行株式会社
単元未満株式の 買取制度	市場で売却できない単元未満の株式を当社が市場価格で買取りする制度です。

●証券会社にお預けではない株式について

ご所有株式は、「特別口座」で管理されています。特別口座では株式を市場で売買できないなどの制約がありますので、証券会社の口座へ移されることをお奨めいたします。なお、詳しいお手続き等は、左記の特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。



水なし印刷

廃液が有害物質等を含む現像液や湿し水を使用しない、環境にやさしい印刷方式「水なし印刷」を採用しています。



ノンVOCインキ

VOC（揮発性有機化合物）が1%未満のノンVOCインキを使用しています。



ユニバーサルデザインフォント

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



FSC認証紙

この報告書は、森林を守り、地球環境を守り、資源を守る国際的な森林認証制度のひとつであるFSC（Forest Stewardship Council（森林管理協議会））の基準に基づいて生産されたFSC認証紙を使用しています。

MARUBUN CORPORATION